



集落営農法人だより

第14回山口県集落営農法人連携協議会 通常総会を開催しました。

令和4年4月18日、山口県セミナーパーク「講堂」で通常総会・研修会を開催しました。出席者数は、会員法人、関係機関等を合わせて114名でした。

来賓を代表して、山口県農林水産部 高橋部長、JA山口県 金子組合長よりご祝辞をいただきました。その中で、高橋部長から、「今後も安定して米の生産ができるよう、米の需給改善や、関係施策の予算確保に向けた政府要望を行うとともに、新たに県事業を創設し、関係団体の皆様と一体となって、需要喚起対策等に取り組んでいきたい。」また、金子組合長からは、「コロナ禍の中、経済の低迷・米価の下落などで大変厳しい環境にあるが、県などの関係機関と一体となって、組合員と向き合い、農家所得の増大に向けた取組を進めていきたい。」との発言がありました。



県農林水産部 高橋部長



J A山口県 金子組合長

1 議案審議

1号議案：令和3年度活動報告及び収支決算について

2号議案：令和4年度活動計画及び収支予算について

3号議案：令和4年度会費について

以上の3議案が審議され、原案のとおり可決されました。

なお、総会出席の会員法人数は、163法人（うち、委任状119法人）でした。



協議会 原田会長



協議会 藤田副会長

2 令和4年度活動方針及び活動計画

●活動テーマ

「持続可能な経営体を目指して」～従業員の労務管理の整備と次期役員候補者の育成～

●取組の方向性

設立後10年以上を経過する法人が大半を占め、経過年数とともに構成員の高齢化やリタイアなどで労働力が低下し、法人運営に支障を生じている法人も数多く見受けられる。一方で、設立当初より役員の変更がない法人や土地持ち非農家の増加により、役員の責任や業務への比重が過多になっている状況もある。加えて、新規に雇用した従業員の3割が離職しているなど、新規就業者の定着率の向上も大きな課題となっている。

今年度は、山口県農林水産部と共同で実施した集落営農法人アンケート結果・分析等を踏まえ、JAグループ山口の次世代総点検運動と併せ、次代を見据えた組織体制の構築に向け、法人内資源点検を活用した中期経営計画の作成と役員および役員候補者を対象としたマネジメント研修ならびに働きやすい環境を整備し、従業員の定着率や満足度の向上に資することを重点的に取り組むこととする。

●令和4年度活動計画

活動内容

(1) 課題別研究会

① 経営管理研究会

- ・平成30年度からの法人内資源（ヒト、トチ、モノ、カネ、情報等）の点検活動の成果を踏まえ、10年後の法人・連合体のあるべき姿の研究（法人形態、規模別を含む）

② モデル事業研究会

- ・収益力・生産性の向上など法人が抱える課題の解決に向け、法人経営を直接支援できる事業をモデル的に実施し、事業化を目指す。

③ その他制度の研究

(2) 階層別研修会

① 役員向け“事業承継対策研修”

就業者の定着率向上に向けた人材育成プログラムと労務環境の整備

② 次期役員候補者向け“経営マネジメント研修”

大手企業の経営者から学ぶ「経営者としての素質と役割」

③ 従業員向け“ワークショップ”

働きがいのある職場づくり、自己の能力向上、提案

④ オペレーター向け研修

機械等の基本操作・メンテナンス等

⑤ 経理担当者向け研修

- ・ソリマチ農業簿記、法人の決算、総会の運営等



J A 山口県 藤光課長

(3) 地域法人協の活動支援

- ・地域単位での法人内資源の点検活動を通じ、法人経営の更なる事業拡大や役員の世代交代などを円滑に実施していくことを支援
- ・各種研修会・研究会等の地域単位での活動を支援

(4) 提言活動

- ・山口県知事との意見交換会
- ・山口県農林水産部との意見交換会
- ・5県（山口、広島、島根、大分、高知）協議会の国への共同要請

(5) その他

- ・若手法人就業者への支援・優良経営体表彰・新規就農ガイダンス
- ・法人協だよりの発行・ホームページの運営 等

3 令和3年度山口県集落営農法人優良経営体表彰

総会では、3月29日に開催した「令和3年度集落営農法人優良経営体表彰審査会」、4月12日開催の「役員会」を経て決定された「山口県知事賞」「J A山口県組合長賞」「山口県集落営農法人連携協議会会長賞」「優良経営体表彰審査会審査員特別賞」の表彰式を行いました。



この4賞については、「農業所得の増大」「農業生産の拡大」を基本に、①農業所得の確保状況や経営成績の状況、②担い手の育成・確保状況、③多様な担い手の役割発揮の取り組み、④経営の先進性、⑤農地の集積・利用調整の取組等について審査が行われ、有終の美を飾られた以下の5法人が受賞されました。

【表彰法人】

○山口県知事賞

（農）松屋（下関地区）

○山口県農業協同組合組合長賞

（農）片山（山口地区）

○山口県集落営農法人連携協議会会長賞

（農）ねたろうファーム（宇部地区）

○優良経営体表彰審査会審査員特別賞

（農）日の出（萩地区）

（農）アグリサポート大津（長門地区）

※（農）片山は当日欠席のため、山口地区協議会 秋本会長が代理して受賞。



優良経営体表彰法人のみなさん

山口県集落営農法人連携協議会研修会を開催しました。

総会に引き続き、同会場において研修会を開催しました。

研修会では、県知事賞を受賞された（農）松屋 理事 松倉公一 氏により「地域農業への維持・発展への貢献、持続可能な農業の構築」と題して、実践報告が行われました。



（農）松屋 松倉理事



J A 山口県 水嶋課長



神戸大学 小川助教

続いて、神戸大学 助教 小川景司 氏により、県農林水産部と共同で実施したアンケート調査の分析結果をもとに「地域農業の存続に向けた集落営農法人の役割と経営展開」と題して講演が行われました。

最後に、J A 山口県担い手総合対策室 水嶋課長により本協議会が運営する「若手新規就業者支援サイト“もりんちゅ”」について説明を行いました。

経営高度化・次世代対策（役員向け）研修会を開催しました。

令和4年3月18日、山口県セミナーパーク「講堂」で、標記研修会を開催しました。

出席者数は、会員法人、関係機関等を合わせて92名でした。

内容については、以下のとおりです。

1 講演

（1）「集落営農法人の経営管理の高度化と次世策について」

山口県農業協同組合中央会 農政対策部

次長 吉武 悟志 氏

（2）「農業法人の役員等からの相談が多い質問とその対応策について」

中小企業診断士 社会保険労務士

白松事務所 代表 白松 秀隆 氏



白松中小企業診断士



山口中央会 吉武次長

2 研究発表

「スマート農業の普及および農業に触れる機会創出
- 山口県の農業の担い手不足を考える -」
山口大学 国際総合科学部 4年（赤崎沙綾さん、
阿部愛さん、柴野真理菜さん、高木奨永さん、
土屋太郎さん）



山口大学 国際総合科学部学生のみなさん

農林水産省との意見交換会を開催しました。

令和4年3月30日、JAビル4階「ホール」で、「水田農業における需要に応じた生産・販売の推進に関する農林水産省との意見交換会」を開催しました。

出席者数は、各地域法人協議会役員、関係機関等を合わせて50名でした。内容については、以下のとおりです。

○水田農業における需要に応じた生産・販売の推進に関する意見交換、質疑応答

- ・3年産の集荷・販売・在庫状況
- ・4年産の「生産の目安」の考え方
- ・転換品目別の具体的な数値目標
- ・産地交付金（県枠）
- ・水田活用の直接支払交付金の見直し
- ・水田リノベ事業等の活用計画 等



農林水産省（農産局、中国四国農政局）のみなさん



各地区地域法人協議会のみなさん

令和4年度第1回役員会を開催しました。

令和4年4月12日（火）13:30よりJAビル4階「共用会議室4」に於いて、令和4年度第1回役員会を開催しました。（出席者：39名）

○ 協議・報告事項

- (1) 令和3年度活動報告・収支決算について
- (2) 令和4年度活動計画・収支予算について
- (3) 令和4年度年会費について
- (4) 優良経営体表彰法人の決定について
- (5) その他

○ 情報提供

